

2023年2月15日

国際原子力機関 (IAEA) による日本の海洋試料採取等の確認 (写真を含む)

国際原子力機関 (IAEA) では、日本政府の要請に基づき、我が国の海域モニタリングデータの信頼性、透明性の確保について日本政府を支援するため、2014年から分析機関間比較 (ILC: Interlaboratory Comparison)* を実施しています。これは、東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所近傍の海洋試料を IAEA と日本が共同で採取し、IAEA 及び日本の各分析機関が個別に分析を行い、IAEA が分析結果を比較評価するものです。

また、2022年からはこれとは別に、東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所における ALPS 処理水の取扱いに係る安全性に関する IAEA のレビューの一環として、日本の海域モニタリング結果の裏付けを行うための ILC も実施しています。

2022年は、11月7日から14日にかけて、IAEA 海洋環境研究所の専門家に加え、更なる透明性向上の観点から、フィンランド、韓国の ALMERA^(注) メンバーの分析機関の専門家も来日し、上記の両 ILC のための試料の採取及び前処理の実施状況を確認しましたので、その様子をお知らせします。

^(注) ALMERA (Analytical Laboratories for the Measurement of Environmental Radioactivity) は、IAEA によって1995年に設立された国際的な分析研究所の協力ネットワーク

添付：海水及び海底土の採取及び前処理等の概要 (写真を含む)

* この節記載の海洋モニタリング ILC は、東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所の廃炉について、2013年度に IAEA がとりまとめた報告書**に記載された海域モニタリングに関する助言のフォローアップとして開始されたプロジェクトの一環です。

** IAEA INTERNATIONAL PEER REVIEW MISSION ON MID-AND-LONG-TERM ROADMAP TOWARDS THE DECOMMISSIONING OF TEPCO' S FUKUSHIMA DAIICHI NUCLEAR POWER STATION UNITS 1-4 (Second Mission)

(https://www.iaea.org/sites/default/files/IAEAfinal_report120214.pdf)

以上

《担当》

原子力規制庁 放射線防護グループ 監視情報課

担当：佐々木、二宮、西下

電話：03-3581-3352(代表)

03-5114-2125(直通)

[添付] [attachment]
(in both Japanese and English)



分析機関間比較の現地ミッションへの参加メンバー：IAEA海洋環境研究所並びにフィンランド及び韓国の分析機関の専門家、原子力規制庁職員等（写真左：11月7日出港前、写真右：11月8日出港前）

Participants in the field mission of ILC: experts from IAEA Marine Environment Laboratories and laboratories in Finland and the Republic of Korea, staff of the Secretariat of Nuclear Regulation Authority (NRA), etc.

(Left picture: before departure on November 7, right picture: before departure on November 8)



東京電力福島第一原子力発電所沖でH-3分析用の表層海水試料を採取しているところ（海水を採水器によって一旦20Lのプラスチック容器に採取した後、各プラスチックボトルに分取した。）

Collecting surface seawater for H-3 analysis off the coast of TEPCO's FDNPS (A 20L cubitainer was at first filled with seawater by a water sampler and then sub-samples were filled to each plastic bottle.)



陸上げた海水試料を確認後、各分析機関に向けて移送するための準備をしている様子

Confirming the landed seawater samples and preparing to transport them to each analytical laboratory.

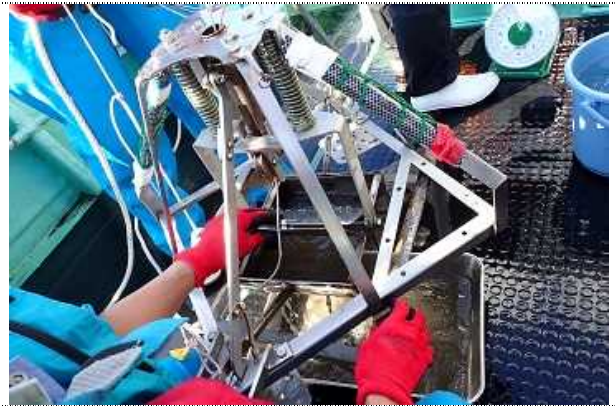
これらの海水試料は、分析機関間比較のために、日本、IAEA、フィンランド、韓国の各分析機関へ供されます。

These seawater samples will be provided to the analytical laboratories in Japan, IAEA, Finland and the Republic of Korea for ILC.



東京電力福島第一原子力発電所沖で採泥器により海底土試料を採取しているところ

Collecting a sediment sample by a grab sampler off the coast of TEPCO's FDNPS.



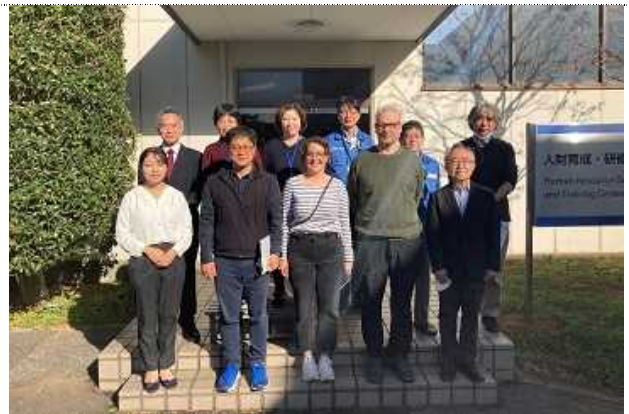
採泥器から海底土試料を取り出している様子

Taking out a sediment sample from a grab sampler.



海底土試料について、乾燥器による乾燥、ヘラによる粉碎、2mm及び0.25mmのふるい分けを行った後、二分器による試料分割を行っている様子

Sediment sample after oven-dried, crushed by a spatula, and sieved through a 2mm and 0.25mm screen was divided by a splitter.



分析機関間比較のための海底土試料前処理への参加メンバー：IAEA海洋環境研究所並びにフィンランド及び韓国の分析機関の専門家、原子力規制庁職員等

Participants in the preprocessing of sediment samples for ILC: experts from IAEA Marine Environment Laboratories and laboratories in Finland and the Republic of Korea, staff of the NRA, etc.

これらの日本で前処理された海底土試料は、分析機関間比較のために、IAEA海洋環境研究所による均質性試験を経て、日本、IAEA、フィンランド、韓国の各分析機関へ供されます。

After the preprocessing in Japan and the homogeneity test by IAEA Marine Environment Laboratories, these sediment samples will be provided to analytical laboratories in Japan, IAEA, Finland and the Republic of Korea for ILC.